



「建設労働災害ゼロ」を宣言！あんぜん大会

長岡国道事務所工事安全対策協議会は、9月24日(火)長岡市中之島文化センターにおいて建設労働災害防止大会を開催し、工事等の受・発注者が一体となって、労働災害、公衆災害、交通災害等を防止することを確認し、安全宣言により「建設労働災害ゼロ」をめざして取り組むことを宣言しました。

大会では、長岡労働基準監督署、長岡警察署及び長岡市消防本部から講師を招き、安全に関する講話をいただきました。

- ・長岡労基署：管内労働災害の状況、元請・下請や店社を含めた自主的な安全衛生活動の促進
- ・長岡警察署：高速道路の違反車取締中に追突事故に遭った交通機動隊員の体験と教訓
- ・長岡消防本部：熱中症の対処、救急要請時に救急隊へ伝える情報のポイント解説

安全対策の参考となる貴重な講義に、会場の参加者全員が真剣に聞き入っていました。

また、今年度の安全管理優良受注者に表彰された町田建設(株)より、昨年度の長岡国道管内斜面雪処理作業で実施した「安全管理の取り組み事例」を紹介いただくとともに、当事務所からは今年度の工事事故発生状況と事故の特徴等を報告し、現場における注意喚起を行いました。



開会挨拶(会長)



長岡労基署 講話



長岡警察署 講話



長岡消防本部 講話



取組事例発表(町田建設)



長岡国道からの報告



大会の締めくりに、協議会を代表して(株)文明屋 現場代理人 山中さんの先導で、「安全宣言」を参加者全員(182人)で唱和し、無事故・無災害に取り組むことを確認しました。

【総括保全対策官】

編集・発行・お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課

TEL:0258-36-4551(代表) FAX:0258-36-4582



国土交通省北陸地方整備局

ふるさとのぬくもり伝える道づくり

長岡国道事務所

〒940-8512 長岡市中沢4-430-1

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/index.html>

ちよーこく 検索

携帯版

スマホ版



加茂農林の生徒が八十里越の工事現場を見学しました

9月18日(水)、新潟県立加茂農林高等学校の環境緑地科環境土木コースを選択している2年生16名が、建設中の国道289号八十里越の工事現場を見学しました。

この見学会は、建設業界の担い手確保を目的としており、一般社団法人新潟県建設業協会が主催し、長岡国道事務所が協力して実施したものです。

見学箇所の1号トンネル及び5号橋梁では、各施工担当者から工事の施工方法等について説明を行いました。説明を受けた生徒さんからは多くの質問が寄せられ、関心の高さを伺う事ができました。当事務所はこれからも建設業界の担い手確保の取り組みに協力していきます。 【計画課】

【1号トンネル】



【5号橋梁】



長岡高専の学生が八十里越と柏崎バイパスを見学しました

9月26日(木)、長岡高専の環境都市工学科第3学年44名の皆さんに、八十里越の5号橋梁と柏崎バイパスのトンネルにおいて、工事現場を見学していただきました。

5号橋梁ではハイピアの下部工の施工方法の説明を受けた後、エレベーターで橋脚の上部に登り具体的な施工について間近で見学しました。また、トータルステーションとレーザースキャナーの機能を持つ最新の測量機器についても説明を受けました。

柏崎トンネルではトンネルの施工方法や施工順、施工機械、トンネル設備について説明を受け、熱心に学んでいただきました。 【計画課】

【八十里越】5号橋梁



【柏崎バイパス】山岳部トンネル



【おまけ】

見学会終了時に配布された柏崎市のゆるキャラ「えちゴン」のクッキー



塩沢商工高校生が橋梁点検実習を体験

塩沢商工高等学校3年生が、南魚沼市の国道17号「伊田川橋」で橋梁点検実習を行いました。この実習は将来のインフラ老朽化対策を担う人材育成を目的とし、平成28年度から継続して実施しています。

当日は座学で橋梁のメンテナンスサイクル等を学び、実際の橋で損傷を直接見て点検し、またそれを発表することにより、老朽化に対する理解をより深めて貰いました。

生徒からは、「橋梁点検は橋の色々なところを細かく見ていく必要があり想像よりも大変だった」、「普段は橋の上を通るだけなので全然損傷に気づかなかったが、橋の下など細部まで点検する必要性が分かった」などの感想を聞くことができ、熱心に実習に取り組んでいたことが感じられ、未来を担う技術者にとって貴重な経験になったと思います。

【管理第二課】

【実施概要】

日時：令和元年9月26日（木） 12時50分～15時40分

対象：塩沢商工高等学校 機械システム科 3年生15名

行程：1) 12時50分～13時20分（高校内で講義）

2) 13時40分～14時20分（伊田川橋で橋梁点検実習）

3) 14時40分～15時40分（高校内で点検結果報告）



打音検査で浮きの有無を確認



点検後の報告会